

医療安全トピックス TOPICS

Vol.80

鳥谷部 紀子

日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業部

「医療事故報告の状況」と「中心静脈穿刺合併症に係る死亡の分析 第1報」について

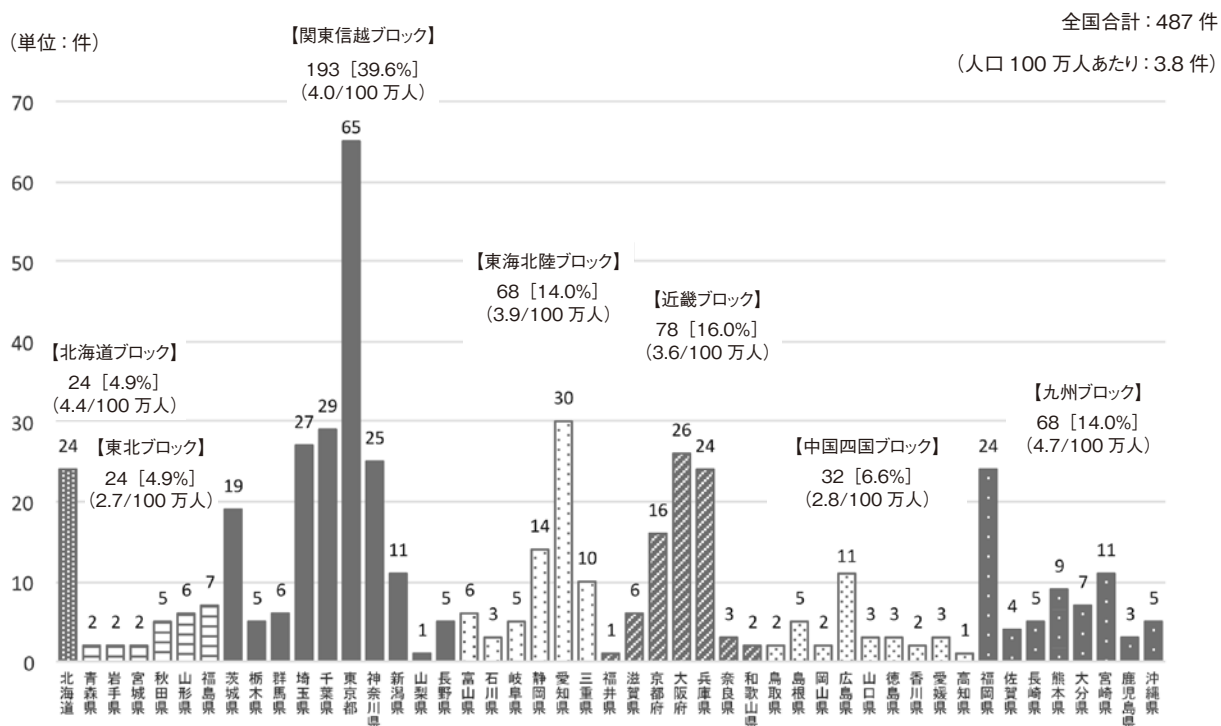
医療事故調査・支援センター（以下：センター）では、今般、医療事故調査制度が開始された2015年10月から2016年12月までの1年3カ月において、医療機関から報告された医療事故報告等に関する集計結果をまとめました。さらに、本制度の目的である再発防止に関する普及啓発として、「医療事故の再発防止に向けた提言 第1号—中心静脈穿刺合併症

に係る死亡の分析 第1報」を作成しましたので、紹介をさせていただきます。

●医療事故報告について(2015年10月～2016年12月)

医療機関からセンターに報告された医療事故報告件数は全国で487件であり、人口100万人あたり3.8件でした(図1)。

【図1】都道府県別および地域ブロック別の医療事故報告件数



※人口100万人あたりの報告件数は、[報告件数/人口×100万]として算出。
※人口は、「平成27年人口推計」(総務省統計局)に基づく。

(日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センター)